

参加者募集！！**ジャーナリスト、アナウンサー志望者のための取材・撮影・編集 サマーワークショップ【7/23(金)】**

こんにちは！70歳以上の方にインタビュー取材をし、失われゆく記憶を動画にして残すというNPO、

【MEMORO「記憶の銀行」】にて広報を担当しています、松本と申します。

このたびMEMORO「記憶の銀行」は、ジャーナリストを目指す学生の皆さん向けにサマーワークショップを開催します。取材手法やインタビューの実践的方法についての演習や講義、カメラワーク実践講座など内容盛りだくさんです。

このワークショップでの取材経験は皆さんの就職活動にも生きてくるはずですよ。

ぜひこの夏休みを活用してインタビュー取材や撮影・編集を経験してみませんか？皆さまのご応募をお待ちしています！

ワークショップ概要 ※下記①、②への参加が必須となります**① 講座への参加【2010年7月23日(金) 18:30～20:30 @東京都江東区亀戸】****◆講義と演習「取材法とインタビュー：ニュースの切り口の見つけ方」**

◇講師 矢澤利弘

【プロフィール】早稲田大学商学部卒業後、日本経済新聞社に入社。監査法人伊東会計事務所を経て、米国系通信社ブルームバーグ・ニュースにおいて大企業、ベンチャー企業の経営者100人以上の取材を行い、ビジネスモデル、企業戦略などについて調査、報道。現在、映画専門大学院大学准教授。雑誌等に論評を寄稿するなど、映画批評家としても幅広く活躍中。

◆動画撮影カメラワーク講座**◆提出課題についての説明など****② 取材・動画の撮影・編集・アップロード(各自)【～2010年8月31日(火)】**

取材先の選定・アポ取り・インタビュー＆撮影・動画編集・アップロード。

講座参加後、8月末日までに5分前後のインタビュー動画作品を2本以上完成させます。動画作品はMEMORO「記憶の銀行」のWEBサイト <http://www.memoro.org/jp-jp/home.php> にて発表。その後、講師から作品の講評を行います。

※詳細は講座にてお知らせいたします。※MEMORO「記憶の銀行」の趣旨上、取材対象は70歳以上の方となります。

募集要項

- ◆応募条件： 大学生、大学院生、短大生、専門学校生 ※学年は問いません
動画撮影ができるデジタルカメラかビデオカメラをお持ちの方
編集ソフトをお持ちで(フリーソフトでも可)簡単な編集ができる方
かつ、MEMORO「記憶の銀行」の趣旨をご理解いただける方(下記参照)
- ◆参加費用： 500円(諸経費のみ。ワークショップ当日に持参ください)
※取材の為に掛かる交通費等の実費は負担いただきます
- ◆募集定員： 15名(先着順)
- ◆募集期間： 7月5日(月)～7月16日(金) ※締切を過ぎましたが、まだ残席ございます。
- ◆お申し込み方法：

参加をご希望の方は、下記の①～⑦について明記の上、info.jp@memoro.org までメールにてお申し込みください。

※参加の可否は7月22日(木)までに順次メールにてご連絡いたします。

- | | |
|---------------|-----------------------------------------|
| ①氏名(よみがな) | ⑤志望している職種(記者、ディレクター、カメラマン等) |
| ②学校名・学年 | ⑥所有している撮影機材(デジタルカメラ or ビデオカメラ、機種名) |
| ③日中連絡の取れる電話番号 | ⑦ワークショップ参加への意気込みをお聞かせください
(一言で構いません) |
| ④PCメールアドレス | |

MEMOROについて

MEMORO「記憶の銀行」は、70歳以上の方々の記憶を残し未来に伝えていくために生まれた無料オンラインアーカイブです。失われゆく記憶を広く一般から収集・公開することによって世代間をつなぐこの活動は、2007年にイタリアで産声をあげ、今では世界11カ国に広がっています。 <http://www.memoro.org/jp-jp/progetto.php>